

# きん じょう てん か 錦上 添花

錦ヶ丘中学校  
学校便り  
4月26日発行 NO.3  
文責 出崎 友英

## そろえよう!

私は放課後などに、人のいない校舎の教室やろうかを時々巡り歩きます。そして誰もいないところを歩いていても、(誰もいない場所だからなおさらかもしれません…)そこに人の思いを感じることがあります。

例えば、トイレのスリッパです。ピシッとそろえて並べられたスリッパを見ると、すがすがしい気持ちになります。

例えば、ろうかのぞうきんです。ぞうきんがけに、きちんとそろえてかけてあるぞうきんを見ると、うれしくなります。

例えば、教室の机や椅子です。縦・横そろって机や椅子が整然と並んだ教室をしばらく眺めていると、イライラしていた心がすっと落ち着く時があります。

物音もしないろうかや教室で、スリッパやぞうきん、机や椅子、壁の掲示物などを眺めては、そこからパワーをもらっているような気がするから不思議な感覚です。

言葉をもたないものたちが「おつかれさま」「がんばれ」と励ましてくれるようですとは、さすがに言いすぎでしょうか。

考えてみれば、スリッパやぞうきん、机や椅子、掲示物等は、そのもの自体は動けないのだから、整ったり、そろったりしているのは、誰か人の力なのです。誰かの気づき、思い、行動なのです。私は、スリッパやぞうきんや、机・椅子そして掲示物のきちんと整った有様を眺めながら、そこに人の心や行いを感じているということなのです。➔

誰かがきちんとそろえて並べてくれたスリッパ、たたんで伸ばしてかけてくれたぞうきん。みんなで並べた机・椅子。誰かがピシッと貼ってくれた掲示物…その思いや行いを感じては、うれしくなったり、勇気づけられたりしているのです。

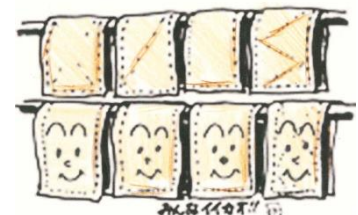
藤本幸邦さんが書かれた「はきものをそろえる」という詩があります。

はきものをそろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐとくに そろえておくと  
はくとくに 心が乱れない  
だれかが 乱しておいたら  
だまって そろえておいてあげよう  
そうすれば きっと世界中の人の心もそろうでしょう



はきものだけではないはずです。「はきもの」のところを「ぞうきん」、「机・椅子」、そして「掲示物」と読みかえてみましょう。これらがそろっているとみんなの心もそろうのではないかと、私は思います。

錦ヶ丘中のみんなの心がそろうように、スリッパ、ぞうきん、机・椅子、掲示物…。みんなの身の回りのものを錦ヶ丘中のみんなですらえてみようではありませんか。



## 部活動、頑張っています。

先週末の土日は、多くの部活動で大会が開催されました。男子バレー部は熊日旗熊本市大会で見事優勝しました。昨年度に続いて2連覇です。同じ大会で、女子バレー部はベスト8に進出しました。また、男女バスケットボール部は熊本市優勝大会に出場し、女子は準決勝に進んでいます。男子は県大会出場をかけて、それぞれ4月27日の試合に挑みます。それぞれの部活動に1年生が新入部員として加わり、これまでよりさらに活発な雰囲気です。放課後や休日の活動に頑張っています。



## ◆お知らせ・お願いです。

○明日から3連休、そして5月3日から4連休と休日が続きます。新学期が始まって1か月余りが過ぎました。心身ともに疲れを感じている人も少なくないと思います。ぜひ、この大型連休を有効に活用して心身のリフレッシュを図ってください。また、例年この時期に小中学生の交通事故や水難事故が発生していることから、教育委員会からも大型連休中の生活について注意喚起の通知が届いています。特に①自転車に乗る時はヘルメットを着用し、交通ルールを守る。②海や河川など水難事故につながる危険性のある場所では子どもだけで遊ばないことの2点について、各家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。



○先日、錦ヶ丘中校区の小学校の校長先生方とお会いした時、「錦ヶ丘中の生徒さんが、とても気持ちのいい挨拶をしてくれます。」とおっしゃいました。私も新学期になり、朝の校門に立って「生徒たちのあいさつがとてもいいなあ。」と毎朝感じています。これからも元気な挨拶を継続していきましょう。

今日を頑張った人に、いい明日が来る。  
「先生のコトバ集」より